

やすらぎ通信

1 平成 18 年 3 月 春彼岸号



平成 18 年 春彼岸

みなさま、お墓参りごくろうさまでございます。

暑さ寒さも彼岸までと言います。

例年、早春のこの季節は、強い風が吹き畑の土がまいあがります。今日はいかがでしたか。

みなさまに気持ちよくお墓参りをさせていただきたい、心のやすらぐ霊園を提供させていただきたいと、この地にやすらぎの郷霊園を開園させていただいてから、はやいもので七年目を迎えようとしております。

今後も皆様方に喜ばれるような霊園を目指して参ります。

掲示板を使い折々のご案内をさせていただいておりますが、もっと色々な情報をお知らせさせていただきたいと思い、この度やすらぎ通信（仮名）を作成させていただきました。

ご意見・ご希望などございましたらお気軽にお声をかけください。

***** お知らせ・ご案内 *****

●各スロープに手すり設置

「上りは良いけど下りがちょっとつらいのよ」とのお声により設置しました。

お気をつけてご利用下さい。

また各階段リフトは、事故防止の為にカギをかけてあります。

ご自由にお使いいただけますのでお気軽にお声かけ下さい。

●F区 改善工事中

現東屋を移転して、F区を工事中です。いろいろとご不便をおかけいたしますが、どうぞご了承ください。

●新区画（E2区）のお知らせ

E区の脇に新区画を設けました。ご縁の方でお墓をお探しの方がございましたらお声をおかけ下さい。

●彼岸中の駐車場についてのお願い

時間により満車となります。

進入路の前でしばらくお待ちいただくか、門前の霊園駐車場をご利用下さい。

永代供養墓『やすらぎの碑』

少子化の世相を反映してか、時折新聞などでも合同のお墓を特集した記事が見受けられます。

現代は従来からのお墓のイメージとは離れ、新しい形態のお墓が増えております。

やすらぎの碑は墓地継承の件でお悩みの方、さきざきのご供養が心配な方に善光寺がご供養を勤めさせて頂く永代供養墓です。

建物の中ではなくお墓同様に屋外でのお墓参り。お彼岸には入りきらないほどのお花でかこまれ、お線香の薫りが絶えることなく皆様にお参りをさせていただいております。

お墓の中、地下の納骨室には一葉観音像をお祀りし、ご供養しております。



一葉観音像

シャンデリアの印象的な光のもとで、優しい、慈しみのまなざしで微笑みかけてくださっています。

曹洞宗の開祖、道元禅師が中国より禅を持ち帰る船旅中に海が荒れ船が沈没しかかった際、船底で一心に観音経をお唱えしたところ、一枚の葉の船にのって現われた観音様が波を鎮めて下さったとの逸話があります。



一心称名観世音菩薩 … 念彼観音力 … 念彼観音力 …

(妙法蓮華経観世音菩薩普門品より)



合掌について

指と指との間を離さず、掌をぴったりと合わせます。胸の前で胸につけないように少し前に出します。肩に力をいれないようにします。

合掌の姿はみ仏と出会うときの挨拶の仕方であり、仏様に帰依する礼儀作法ですから心をおちつけて行います。一心に専念して合掌します。

右仏 左はわれと 合わす掌の 中ぞゆかしき 南無の一声

善光寺の彼岸法会

善光寺では春・秋のお彼岸、お盆を含め年に5回の一斉のご法要を執り行っており、ご都合の良い行事にご参加いただけます。

700名を越す方々がお参りをされますのでとてもにぎやか。お一人でお参りのお方が大半です。

法話を聞いたり、一緒にお経を読んだりしていく中でみなさま自然と心やすらかに参りされております。お気軽にお越し下さい。



善光寺定例坐禅会のご案内

「坐禅しませんか」そう急に言われても、「痛そうだし、それに何か厳しそう」と大概の方が敬遠されるのではないのでしょうか。坐禅は特別な事では無く心を落ちつけるための時間です。

「足はしびれて、とても悟り所ではなかったけれど、何か気持ちがすっきりしました」と笑っておられる方もおります。

「一寸坐れば一寸の仏」とは沢木興道老師のお言葉です。一日5分でも静かに自分の心と対話をして、心豊かにお過ごしいただければと思います。

お気軽にお問い合わせください。初心者の方にはご指導いたします。

<定例坐禅会日程>

原則として毎月第1日曜日 朝6時～

平成18年 4月2日・5月7日・6月4日・7月2日・8月6日・9月3日

参禅ご希望の方は前日午後7時までにご連絡ください。

善光寺：〒234-0053 横浜市港南区日野中央1-12-9 ☎045(845)1371



春は花 夏ほととぎす 秋は月 冬雪さえて すずしかりけり

道元禅師の歌です。春になれば自然と花は咲きます。四季それぞれにその特徴があります。

自然はありがたいですね。私たち人間もその自然の一部です。

お彼岸について

般若心経というお経の最後に

「ギャテーギャテー、ハーラーギャテーハラソーギャーテーボージーソワカ」という句が出てまいります。

非常に有名なお経ですのでご存知の方も多いかと思いますが、この句の意味はよく次のように訳されます。

「いきましょう、いきましょう、捉われなき世界へ、素晴らしいところへ、ひとり残らずいきましょう、悟りよ幸あれ。」(佐藤俊明老師訳)

この捉われなき世界とは何か。それが彼岸です。

日常の忙しい生活から、何事にも捉われない、落ち着いた心境になる為に、昔よりこのお彼岸の時期に合わせ六つの徳目(六波羅蜜)を実践いたしましうと言われております。

- 布施 あたえよう、物でも心でも
- 持戒 生きよう、人間らしく
- 忍辱 耐えよう、どんなことにも
- 精進 努めよう、自分の仕事に
- 禅定 おちつこう、息ととのえて
- 智慧 目ざめよう、仏の道に



お墓の掃除は心の掃除。どうぞ、心静かにお参り下さい。

編集後記

若木だった桜も今では満開の花を咲かせるようになりました。
時の流れを感じます。

少しでも皆様に喜んでお参りをさせていただけるようにこれからも精進してまいります。宜しくお願ひ申し上げます。



お便り募集

絵手紙や俳句などでも結構です。お待ちしております。

やすらぎサポーター募集

ご意見ご希望、お力添えいただける方はお気軽にお問い合わせ下さい。

横浜やすらぎの郷霊園 「やすらぎ通信」 発刊不定期 編集:横浜やすらぎの郷霊園管理事務所
〒241-0802 神奈川県横浜市旭区上川井町堀谷 1749-1 ☎045-924-0210 FAX:045-924-0239
URL:zenkouji.net/yasuragi | Eメール:y-yasuragi@angel.ne.jp